

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	平成28年度第1回高松市伝統的ものづくり振興審議会
開催日時	平成28年5月26日(木)15時30分～
開催場所	高松市役所 7階 72会議室
議 題	(1)会長・副会長の選任について (2)高松市伝統的ものづくり振興事業 平成27年度事業報告・決算、平成28年度事業計画・ 予算について (3)その他
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	
出席委員	4 人 池田委員、香川委員、泉川委員、谷委員
傍 聴 者	0 人 (定員 5 人)
担当課および連絡先	産業振興課創造産業係 839-2411

審議経過および審議結果

(事務局)
開会のことば

～事務局より議題説明～

(1) 会長・副会長の選任について
(2) 高松市伝統的ものづくり振興事業
平成27年度事業報告・決算、平成28年度事業計画・予算について
(3) その他

～事務局より議題(1) 会長・副会長の選任について～
会長は、池田清史氏。副会長は香川深雪氏に決定。

～事務局より議題(2) について資料をもとに報告～

(委員)
観光資源PR事業についてだが、海外からの観光客には、伝統的ものづくりや地域でしか経験できないようなワークショップのニーズが高い。常時はなかなか難しいと思うが、週に1回からでも体験できる場所の確保と内容を検討してほしい。
漆器については、金つぎとかでもよいのではないか。

(委員)
大型船の停泊時に香川の特産品等を紹介やワークショップ等ができないだろうか。大型船のお客さんは、なかなか地域内も巡りにくい、大型船内でのイベント内容としてもよいのではないか。

(事務局)
大型船については、情報収集し、検討していきたい。

審議経過および審議結果

(委員)

補助金については、事前申請ではなく、実績の上がった事業者への交付の検討ができないだろうか。

(委員)

文化面と産業面の両方を意識して動かす必要があると思う。県と市、関係課の事業内容や負担金の使い道を摺合せして進めていってほしい。

(事務局)

この審議会をうまく活用し、情報共有しながら進めたい。

(委員)

事業者によっては、予算ありきで動く場合が多く、自分たちの事業という認識やリスク管理が低く、ポテンシャルが低いところもある。一定の自己負担はさせ、毎年同じような内容を行ったり、改善の工夫が感じられないものには、もう少し検討すべきである。

(委員)

売れないという前提から、どう PR するか、どう動いていくかを真剣に考えないといけない。補助金を使用し、売れたような錯覚をさせるのも良くない。一生懸命やっている人の更なるステップアップには有効だとは思いますが、補助金を出して、自立できない事業を増加させるのでは意味がない。出口を見据えて、自腹でも頑張ろうというような事業者を支援すべきであり、そういう事業者でないと継続しない。

(委員)

お金を出すのであれば、しっかり口出しもしてほしい、例えば販路開拓であれば、ブースの設え、そこでの接客態度等、見せ方や意識等までフォローすべき。展示会に出たから売れるのでは決してない、しっかりとしたルートの確立と生産できる体制づくりも必要。

(事務局)

いただいた意見や視点を参考にしながら、補助金申請の審査や内容の検討を行いたい。